

# ピアホームだより

2023. 7. 10

## 障害者グループホーム のガイドブックから

グループホームのガイドブック第4版が出ています。9月のはすね会での勉強会に備え、新しい情報の仕入れを行いました。

### 1 障害者の数

障害者基本法に基づき、1994年から「障害者白書」が出されています。令和3年度版データでは、

	総数	在宅	施設
身体	436	428,9	7,3
知的	109,4	96,2	13,2
精神	419, 3	389	30, 2(万)

### 2 手帳の取得

ここ20数年、年各障害とも伸びていますが、特に精神障害は20倍の伸びをみせています。社会の精神障害への理解の深まりと、障害者

自立支援法の成立で精神障害者の福祉が進んだことによるものと思われます。

### 3 障害者グループホームの歩み

#### ① 福祉ホーム

1984 身体障害者福祉ホーム

1990 知的障害者福祉ホーム

1987 精神障害者福祉ホーム

精神障害者福祉ホームは、社会復帰施設の一つと位置づけられ、低額な料金で地域生活に必要な便宜を供与し、社会復帰促進および自立促進を図るものとされています。主体は自治体や社会福祉法人などでした。

#### ② グループホームへ

その後、1989年には知的障害のグループホーム事業が始まり、1992年には精神障害者のグループホームもスタートしました。

そして、2006年障害者自立支援法の成立で、3障害共通のグループホーム、ケアホーム、福祉ホームの3類型となり、福祉ホームは市町村地域生活支援事業として組み入れられました。

2013年には、グループホーム、ケアホームが一本化され、基本サービスと介護サービスの2階建てとなっています。また、より一人暮らし

に近いサテライト型の住居や日中サービス支援型グループホームも創設され、現在に至っています。

福祉ホームとグループホームはどう違う？

実際には、福祉ホームの数が少なく、地域生活の計画の中に入って来ていない現状です。

### 4 グループホームの希望者

グループホーム利用者は、2019年のデータで、全国で131, 627人、東京都は11. 448人です。都でのアンケート調査によるホーム希望者は、身体10,258、知的18,334、精神4,631、知的障害の方のグループホームへの関心が高いことが窺われます。身体の方も関心が高いようですが、これは高齢者の割合が高く、親亡き後の一人暮らしが困難に陥っているからでしょうか？知的・精神は、現在高齢者の割合が高くありませんが、高齢化の中、今後必要性が高まることが予想されます。

精神の方の地域暮らしの現状は、他障害と比し、まだ遅れていることが窺われ、入院数や手帳取得率に表れているようです。

### 7月の予定

7月14日:はすね会と勉強会の打ち合わせ